令和５年度　日立市教育研究会先進校等調査派遣研修報告書

日立市立久慈小学校　教諭　伊藤　義隆

１　派遣期日　　令和５年　１０月１７日（火）　～　１０月１７日（火）

２　派遣先　　学校名　埼玉大学教育学部附属小学校
所在地　〒 330-0061　住所　埼玉県さいたま市浦和区常盤６－９－44
http://www.fusho.saitama-u.ac.jp/

３　研修内容

○　第１時　公開授業（２年１組　生活科）
○　第２時　公開授業（２年１組，４年３組　生活科）
○　研究協議（提案・協議）

＜第１時　２年１組＞

単元は，「町のすてきをさがそう」という内容であり，これまでに合計３回まち探検を行っていた。

１時間目は，各自でまとめる作業，２時間目は，発表といった２時間続きの授業であった。

まとめ方は児童にまかせていた。画用紙を使用してまとめる方法は，「本のような形式」「ポスターのような形式」などだった。ペンやテープ，メモ（コメントを貼ることができるように）などは，教師が用意していた。

タブレットでまとめる児童は，パワーポイントを活用していた。文字の大きさや色を工夫したり，アニメーションや写真を入れたりするなど，２年生とは思えないほどのクオリティであった。ローマ字で入力できるように，様々な教科で取り入れているということであった。

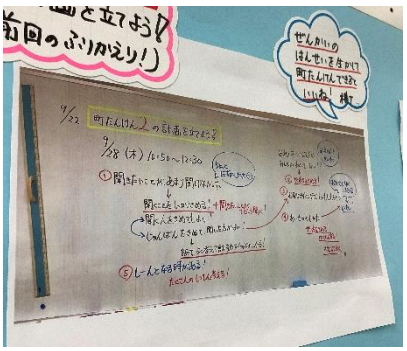
研究のテーマは「学びや自分らしさを自らの生活に生かす児童の育成」というもの。

自分の気付きのよさを実感することで，自分の気付きに自信がもて，学習してきたことを自分らしく生かすことができるようになるという考えからであった。

この授業では，まち探検から気付いたことを自分が思った方法でまとめることで自分らしく進めていっている様子がうかがえた。

これまでのまち探検の様子や，まとめた掲示物も効果的に掲示してあった。授業中，児童は自由に歩き回り，見ることができる工夫をしてあった。

児童は，「先生へ質問」「自分でまとめる」「発表の練習」など自由に選択して授業を進めていた。何より，業間休みの時から，楽しそうにまとめの作業をしている姿が印象的であった。



＜第２時　２年１組＞

第２時は，まち探検で見学に行ったお店などについて気付いたことの発表だった。

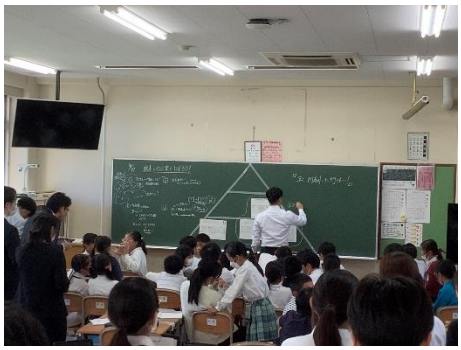
児童は，マイクを持ち，自分の考えをはっきりと発表することができていた。それは，自分が調べたいことを自分らしくまとめていたからだと感じた。

発表の仕方も様々な教科で統一して取り組んでいるということであり，発表をする児童も聴いている児童も素晴らしい態度だった。

児童の発表も素晴らしかったが，発表に対しての教師の板書のまとめ方も見やすく分かりやすいものであった。

関連している事柄をまとめたり，矢印やコメントを要所要所に入れるなどの工夫がしてあったりするなど，板書をパッと見るだけでも説明がなくても１時間の流れが分かるほどであった。

＜４年３組　生活科＞



わずかな時間であったが，４年生の生活科も参観させていただいた。１５０周年のよさを紹介する絵本を作成し，学級代表の作品を選ぶ授業であった。

そこでは，個人の考えを可視化できるようにピラミッドチャートを板書して活用したり，絵本を評価する方法は，レーダーチャートを用いたりするなど，様々な工夫がされていた。また，児童は，各自タブレットでレーダーチャートに評価を入れたり，絵本の内容を見たりなどＩＣＴを上手に活用していた。また，グループごとに話合いもスムーズに行っており，日頃から様々な教科で行っていることが生かされているということを感じることができた。

電子黒板には，児童の画面が表示してあり，教師は進み具合を確認しながら進めていた。

４　感想

附属小学校ということもあり，全体的に学力が高く，やることの全てにおいてレベルが高いものであった。日頃の授業から，様々な教科でルールを一貫して取り組ませていくこと（発表の仕方，聴き方，話合いの方法）の大切さを感じることができた。しかしそれは，どの学校でも近づけるものだと感じた。電子黒板やタブレットなどは，特別に使っているという感じではなく，まさに文房具の一つのように活用していた。

２年生，４年生に共通していたことが，自分から楽しみながら進んで取り組んでいたということである。「知りたい，調べたい。」ということを大切にしているからこそできる授業がたくさんあったと感じた。今後の私の授業につなげていきたいと思える有意義な参観となった。